

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム（第一回）

議事要旨

日 時：8月21日（火）12：30－14：30

場 所：文部科学省東館11階 省議室

出席者：

林大臣（冒頭出席）、水落副大臣（座長）、菊地構成員、福島構成員、村越構成員、森構成員、（事務局）生川総括審、俵参事官、杉江専門官、私学助成課、大学振興課、宇宙開発利用課

議 題：

- 1 調査・検証チームの運営要領及び作業チームの設置について
- 2 これまでの経緯及び調査・検証の進め方について
- 3 文部科学省職員の服務規律の遵守状況等調査について
- 4 公募型事業の選定過程調査の進め方について
- 5 東京医科大学の入試関係について
- 6 その他

概 要：

（議題1 関係）

- ・調査・検証チームの運営要領及び作業チームの設置について了承された。

（議題2 関係）

- ・これまでの本事案等に係る経緯について事務局より説明を行った。

（議題3 関係）

- ・文部科学省職員の服務規律の遵守状況等調査について事務局より説明し、調査票案等について構成員から以下のような意見が示された。なお、調査の実施方法等については、意見を踏まえ、修正の上、改めて構成員への確認を行い了承された後、実施することとなった。

○職員に包み隠さず正確に回答してもらうため、宣誓の上回答してもらうべき。

○職員一人一人の内省、振り返りにつながるような調査とするため、反省点や改善点を述べられるような自由記入欄を設けるべき。

○全職員調査について、調査をする側に、回答した内容は決して外に出ないという守秘義務や、回答によって不利益を被らないとことを明記すべき。

○幹部職員調査について、川端氏以外の文部科学省職員も谷口氏の接待を受けていたという報道も出ているので、その事実があったのか、公務員倫理規定に抵触していなかったか等、しっかり調べるべき。

○本調査を受けて得られた回答をもとに必要があれば、回答以外の踏み込んだ調査も行うべき。

（議題 4 関係）

- ・公募型事業の選定過程調査の進め方について事務局及び私学部より説明し、調査票案等について構成員から以下のような意見が示された。なお、調査の実施方法等については、意見を踏まえ、修正の上、改めて構成員への確認を行い了承された後、実施することとなった。

○私立大学研究ブランディング事業の選定方法について、昨年度までの選定方法の問題点を洗い出し、事業委員会で実効性のある議論を行うなど、選定プロセスの改善を行った上で今年度の事業を実施すべき。

○事業担当課において選定プロセスの改善が実際に行われたのかを調査・検証チームでも確認すべき。

（議題 5 関係）

・平成30年7月5日～8月6日までに行われた学校法人東京医科大学内部調査委員会『調査報告書』について大学振興課より報告を行った。

- ・更なる調査の結果が出た段階で改めて調査・検証チームへの報告を行うこととなった。

（議題 6 関係）

- ・JAXAによる自主的調査の開始について宇宙開発利用課より報告を行った。
- ・調査の結果が出た段階で改めて調査・検証チームへの報告を行うこととなった。

了

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム（第二回） 議事要旨

日 時： 9月13日（木） 10：30－12：00

場 所： 文部科学省東館 11階 省議室

出席者：

水落副大臣（座長）、菊地構成員、福島構成員、村越構成員、森構成員、

（作業チーム）木内構成員、厚井構成員、小松構成員、高橋和弘構成員、高橋未紗構成員
常盤構成員、八尾構成員、柳澤構成員

（事務局）生川総括審、俵参事官、滝沢専門官、多賀谷補佐、菅原補佐、中平補佐、人事課、
会計課

議 題：

1 審議

（1）公募型事業の選定プロセスに関する調査について

（2）私立大学研究ブランディング事業の選定プロセスに関する調査について

2 報告

（1）緊急性を要する公募型事業の取扱いについて

（2）文部科学省職員の服務規律の遵守状況等調査について

（3）医学部医学科の入学選抜における公正確保等に係る緊急調査について

（4）宇宙航空研究開発機構（JAXA）による自主的調査について

3 その他

概要及び結果：

（議題1 審議（1）関係）

- ・公募型事業の選定プロセスに関する調査について、9月中に採択を予定している事業に関する第1次報告（案）について事務局より説明し、作業チーム構成員から補足を行った。第1次報告（案）では特定の者の恣意的な意向が反映されない制度や運用となっているかの観点から特段問題となる事例は確認されなかった。
- ・事業担当課からの提案により改善に向けた取組を自主的に行うことに加え、調査・検証チームにより更なる改善を促した上で、選定プロセスを進めることについて了承された。
- ・調査・検証チームからは、文部科学省の公募型事業について、改善点を確実に取り込むことによって、今後より適切な事業の運営を行っていくよう求められた。
- ・構成員からは以下のような意見が示された。なお、構成員からの意見を踏まえた最終的な第1次報告（案）の確定については、座長一任となった。

○申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付け、その旨を審査要領等に記載すべき

○各々の事業によって異なる判断や取扱いがある中で、透明性を図るためには、利害関係者・利益相反者の影響が入り得る余地がある事業についての統一的なマニュアルを作成すべき

(議題1 審議(2) 関係)

- ・私立大学研究ブランディング事業の選定プロセスに関する調査について、現時点での調査結果(案)について事務局より説明し、作業チーム構成員から補足を行った。調査結果(案)では、平成30年度の選定プロセスについて、一定の改善を図るとともに、選定プロセスの各段階において、調査・検証チームの下に設置した作業チームによるチェックを経ながら選定を進めることについて了承された。
- ・構成員からは以下のような意見が示された。なお、構成員からの意見を踏まえた最終的な調査結果(案)の確定については、座長一任となった。

○選定プロセスにおいて、申請者からの様々な質問があった時に、その質問と回答を全て公表することで透明性を図るべき

(議題2 報告(1) 関係)

- ・既に8月29日に構成員に御了解いただいた緊急性を要する公募型事業の取扱いについて事務局より報告を行った。

(議題2 報告(2) 関係)

※文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム運営要領第3条に基づき非公開とした。

(議題2 報告(3) 関係)

- ・医学部医学科の入学者選抜における公正確保等に係る緊急調査の状況について事務局より報告を行った。
- ・調査の結果が出た段階で改めて調査・検証チームへの報告を行うこととなった。

(議題2 報告(4) 関係)

- ・宇宙航空研究開発機構(JAXA)による自主的調査の状況について事務局より報告を行った。
- ・調査の結果が出た段階で改めて調査・検証チームへの報告を行うこととなった。

了

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム（第三回）

議事要旨

日 時： 9月28日（金）持ち回り開催

場 所： 構成員各位への持ち回りにより開催

議 題：

1 審議

公募型事業の選定プロセスに関する調査について（第2次報告）

2 報告

私立大学研究ブランディング事業の選定プロセスに関する調査について
（作業チームによるチェック状況の経過報告）

3 その他

概 要：

（議題1 審議関係）

- ・公募型事業の選定プロセスに関する調査について、10月以降に採択を予定している事業に関する第2次報告（案）について了承された。

（議題2 報告関係）

- ・私立大学研究ブランディング事業の選定プロセスに関する調査について、作業チームによるチェック状況の経過報告を行った。

了

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム会議（第４回） 議事要旨（案）

日 時：１０月１２日（金）１０：００－１２：００

場 所：文部科学省東館１１階 省議室

出席者：

柴山大臣（途中退場）、永岡副大臣（座長）、菊地構成員、福島構成員、村越構成員、森構成員、
（作業チーム）池田構成員、枝廣構成員、木内構成員、厚井構成員、小松構成員、柴崎構成員、
高橋構成員、柳澤構成員
（事務局）生川総括審、俵参事官、多賀谷補佐、中平補佐、福島補佐、三野補佐、人事課、
大学振興課、宇宙開発利用課

議 題：

１ 審議

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査報告（中間まとめ（案））について

２ その他

概要及び結果：

（議題１ 審議関係）

- ・ 中間まとめ（案）について審議を行い、構成員から示された意見を踏まえ、修正の上、改めて構成員への確認を行った上で「中間まとめ」として確定することとなった。

了

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム会議（第5回） 議事要旨

日 時：12月13日（木）持ち回り開催

場 所：構成員各位への持ち回りにより開催

議 題：

1 審議

（1）平成27年8月のJAXA種子島宇宙センターにおけるロケット打上時の視察者対応に係る調査について

（2）公募型事業の選定プロセスに関する調査について

概要及び結果：

（議題1 審議（1）関係）

- ・「平成27年8月のJAXA種子島宇宙センターにおけるロケット打上時の視察者対応に係る調査について（案）」について審議を行い、構成員から示された意見を踏まえ、修正の上、改めて構成員への確認を行った上で、確定することとなった。

（議題1 審議（2）関係）

- ・今後、採択を予定している公募型事業の選定プロセスに関する調査結果（6件）について了承された。

了

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム会議（第6回）

議事要旨

日 時：平成31年2月13日（水）13：30－15：00

場 所：文部科学省東館11階 省議室

出席者：

永岡副大臣（座長）、菊地構成員、村越構成員、森構成員、

（作業チーム）市原構成員、枝廣構成員、厚井構成員、高橋未紗構成員、常盤構成員、
堀岡構成員、八尾構成員

（事務局）瀧本総括審、俵参事官、山川専門官、人事課、会計課、政策課、大学振興課

議 題：

1 審議

- （1）文部科学省が実施している「私立大学研究ブランディング事業」以外の公募型事業の平成30年度の選定プロセスに係る調査について（「中間まとめ」以降に調査・検証を行った8事業）
- （2）平成30年度私立大学研究ブランディング事業の選定プロセスの各段階におけるチェックの結果について

2 報告

- （1）「学校法人東京医科大学第三者委員会 第三次調査報告書（最終報告書）」について
- （2）文部科学省未来検討タスクフォース報告
- （3）文部科学省創生実行本部の設置について

3 その他

概要及び結果：

（議題1 審議（1）関係）

- ・文部科学省が実施している「私立大学研究ブランディング事業」以外の公募型事業の平成30年度の選定プロセスに係る調査について（「中間まとめ」以降に調査・検証を行った8事業）審議を行い、調査を踏まえた今後の対応について構成員から意見が示され、報告案を修正の上了承された。

（議題1 審議（2）関係）

- ・平成30年度私立大学研究ブランディング事業の選定プロセスの各段階におけるチェックの結果について審議を行い、報告案の通り了承された。

（議題2 報告（1）関係）

- ・平成30年12月29日に公表された「学校法人東京医科大学第三者委員会 第三次調査報告書（最終報告書）」について、入試に関する官庁・公務員との不適切な関係の有無に係る調査結果を中心に、報告書及び東京医科大学に確認を行った内容について事務局より報告を行い、現時点では調査・検証チームとして新たな調査を行う必要がないことを確認した。

(議題2 報告(2)(3)関係)

- ・文部科学省の改革を検討するために省内公募に応募した173名で構成される文部科学省未来検討タスクフォースが、平成30年12月25日にまとめた改革の方向性について、政策課より報告を行った。
- ・平成30年10月30日に、文部科学省の創生の在り方と今後実行すべき具体的方策を検討するために、大臣を本部長として有識者や省内の幹部職員で構成される文部科学省創生実行本部を設置したことについて事務局より報告し、現在、年度内のとりまとめを目指して、文部科学省未来検討タスクフォースの提案も含めて具体的方策について検討を進めていることについて説明した。
- ・構成員からは、タスクフォースの改革の方向性は、非常に良いものであり、これから適切に実行していくことを期待する旨の意見が示された。

(議題3)

- ・調査・検証チームによる「平成27年8月のJAXA種子島宇宙センターにおけるロケット打上時の視察者対応に係る調査について」を踏まえた職員への対応について、事務局より報告を行った。

了

文部科学省幹部職員の事案等に関する調査・検証チーム会議（第7回）
議事要旨

日 時：令和2年4月8日（水） メール審議による開催

場 所：メール審議による開催

議 題：

1. 審議

公募型事業の選定プロセスに係る調査のフォローアップ結果について

概要及び結果：

公募型事業の選定プロセスに係る調査のフォローアップ結果について了承された。

了